



▲児童たちは運転席から見た死角の危険性について学びました

## バスで小学校交通安全教室を開催 バスの死角にビックリ！

横山小学校で9月5日、交通安全教室が開催され、「バスの運転手からの死角」について学びました。運転手の視野を体験するため、児童の代表が目隠しをしてバスの運転席に着席。全児童がバスの周囲を囲んだところで目隠しを外し、運転席から何人見えなかったかを発表しました。運転席の児童から見えなかったのは54人でしたが、実際の人数は78人で、24人が運転席からの死角になっていました。この結果には誰もが驚きを隠せない様子で、「大型車両の周辺では十分に気をつけます」と全児童で誓いました。

## 手に汗握る大激戦！

第2回石森ふれあい運動会（同実行委員会主管）が、9月14日、石森ふれあいセンターグラウンドで開催されました。当日は天候にも恵まれ、さわやかな秋の風が吹き抜けるなか地区民約630人が参加。工夫を凝らした各種競技に、手に汗握る熱戦が繰り広げられました。応援席のテントからは声援や笑い声があふれるなど観戦していた皆さんも大変な盛り上がりで、スポーツの秋を大いに楽しんだ1日となりました。大会結果は次のとおりです。【優勝】加賀野一区【準優勝】加賀野二区【第3位】南町



▲掛け声に合わせて進む各チームに会場からは声援が送られていました

## 災害時に役立つ新競技

豊里地区市民大運動会が9月7日、豊里運動公園で開催され、子どもからお年寄りまでみんなで楽しめる11種目を実施しました。今年度は、豊里支部婦人防火クラブの協力のもと、災害時に役立つ知識を競技に取り入れ、防災用品を描いたカードを選びリレーする競技『備えて安心』などバラエティーに富んだ種目を実施し、応援席からは大きな歓声や拍手が送られ大いににぎわいました。天候はあいにくの曇り空でしたが、競技に参加した皆さんは熱戦を繰り広げ、西二ツ屋町内会が優勝の栄冠に輝きました。



▲災害時に必要な防災用品をリレーする新競技「備えて安心」



▲体験操作の実践演習コーナーでシートベルトの効果を体験する参加者

## 交通安全と防犯がひとつに

南方農村環境改善センターで8月27日、南方安全安心な地域づくり大会が開催されました。この事業は、交通安全と防犯、双方の視点から「命の大切さ」について一体的な地域づくりを行うため、住民自らが主体となって企画・運営し、総合支所が支援して実現しました。これまで、それぞれの立場で活動してきた交通安全と防犯にかかわる町内各種関係団体が一堂に会し、このような仕組みづくりを構築させたのは新たな試みであり、今後は協働のモデル事例として市内の各方面へと波及効果が期待されます。



▲市内外から参加した多くの皆さんがプレーを通して交流を深めました

## スポーツで親睦と交流を

第2回県なでしこグラウンド・ゴルフ交歓県東ブロック大会が9月4日、東和総合運動公園を会場で開催されました。この大会は、県グラウンド・ゴルフ協会の主催で開かれたもので、女性の皆さんがグラウンドゴルフを通して楽しみながら親睦を深めることを目的としており、今年で2回目となります。市内をはじめ、気仙沼市や石巻市などから約240人が参加して行われた競技では、プレーを楽しみながらも1打、1打に集中する真剣な姿勢がみられ、日ごろの練習の成果を十分に発揮していました。

## 米粉料理でおもてなし

地区の一人暮らし老人とお茶飲みなどを通して定期的に交流している心友会（代表＝阿部豊彦さん）の皆さんが9月10日、米粉料理の試食会を開き、地区のお年寄りを招いて交流を深めました。これは最近米粉が脚光を浴び、多くのメニューが紹介されていることをきっかけとして実施され、地区の食生活改善推進委員が中心となり、米粉でがんづきやだんご入りの芋煮汁などの料理をつくり、約40人のお年寄りたちと試食しました。食事の後はみんなで感想などを話し合い、楽しいひとときを過ごしました。



▲米粉の食感を味わいながら、試食会を楽しむ参加者の皆さん